

### 第13章 事後調査の実施に関する事項

予測及び評価を行った環境要素について、予測の不確実性の程度が大きいか否か検討を行い、事後調査項目を選定した。選定した事後調査項目及び選定した理由または選定しなかった理由を表13.1-1に示す。また、事後調査の内容は、表13.1-2に示すとおりである。

表 13.1-1 (1) 事後調査項目の選定結果

環境要素	選定した理由または選定しなかった理由	
温室効果ガス・エネルギー	○	<b>【供用】</b> 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられるが、環境取組内容の実施による効果等を把握し、他施設との比較を行うため、項目として選定する。
廃棄物等	×	<b>【工事】</b> 工事計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、工事の実施に当たっては、関係法令等に基づき、廃棄物の発生抑制・減量化・リサイクル等について適正な措置を講じる計画であることから、項目として選定しない。
	○	<b>【供用】</b> 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられるが、環境取組内容の実施による効果等を把握し、他施設との比較を行うため、項目として選定する。
大気汚染	○	<b>【工事】</b> 建設機械の稼働、工事用車両の走行については、影響が最大になると想定される場合の予測を行っており、影響がこれを超える可能性は小さいと考えられるが、近隣の住宅等への影響を考慮し、項目として選定する。
	○	<b>【供用】</b> 施設の供用、施設関連車両の走行については、施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられるが、施設関連車両の走行に伴う排ガスによる近隣の住宅等への影響を考慮し、項目として選定する。
悪臭	×	<b>【工事・供用】</b> 工事計画及び施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、工事中、供用後ともに「悪臭防止法」に定める悪臭物質等は使用しないことから、項目として選定しない。
ヒートアイランド現象	×	<b>【存在・供用】</b> 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
水質汚濁	×	<b>【工事】</b> 工事計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
土壌汚染	×	<b>【工事】</b> 工事計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、工事の実施に当たっては、関係法令等に基づき、土壌汚染の防止について、必要に応じて適正な措置を講じる計画であることから、項目として選定しない。

表 13.1-1 (2) 事後調査項目の選定結果

環境要素	選定した理由または選定しなかった理由	
騒音	○	<b>【工事】</b> 建設機械の稼働、工事用車両の走行については、影響が最大になると想定される場合の予測を行っており、影響がこれを超える可能性は小さいと考えられるが、建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴う騒音による近隣の住宅等への影響を考慮し、項目として選定する。
	○	<b>【供用】</b> 施設の供用、施設関連車両の走行については、施設計画に基づく予測を行っており、影響がこれを超える可能性は小さいと考えられるが、道路交通騒音については環境基準値及び吹田市目標値を超過している地点もあることから、近隣の住宅等への影響を考慮し、項目として選定する。
振動	○	<b>【工事】</b> 建設機械の稼働、工事用車両の走行については、影響が最大になると想定される場合の予測を行っており、影響がこれを超える可能性は小さいと考えられるが、建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴う振動による近隣の住宅等への影響を考慮し、項目として選定する。
	○	<b>【供用】</b> 施設の供用、施設関連車両の走行については、施設計画に基づく予測を行っており、影響がこれを超える可能性は小さいと考えられるが、道路交通振動については近隣の住宅等への影響を考慮し、項目として選定する。
低周波音	×	<b>【供用】</b> 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、供用後の影響は小さいと予測していることから、項目として選定しない。
動植物生態系	×	<b>【工事・存在・供用】</b> 工事計画及び施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、事業による影響は小さいと予測していることから、項目として選定しない。
緑化	×	<b>【存在】</b> 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
人と自然とのふれ合いの場	×	<b>【工事・存在】</b> 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
景観	×	<b>【存在】</b> 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、計画建物の外観・色彩の詳細については、今後、吹田市まちづくり計画、吹田市景観まちづくり条例に基づき、関係機関等と協議を行い決定する計画である。したがって、項目として選定しない。
日照阻害	×	<b>【存在】</b> 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
テレビ受信障害	×	<b>【存在】</b> テレビ電波の受信障害が発生した場合は、適切な措置を講じることとしていることから、項目として選定しない。
文化遺産	×	<b>【工事】</b> 工事実施前に関係機関と協議を行い、適切な措置を講じることとしていることから、項目として選定しない。

表 13.1-1 (3) 事後調査項目の選定結果

環境要素	選定した理由または選定しなかった理由	
安全	×	<b>【供用】</b> 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、事業計画地周辺への影響は小さいと予測していることから、項目として選定しない。
コミュニティ	×	<b>【工事】</b> 工事計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、事業計画地周辺への影響は小さいと予測していることから、項目として選定しない。
交通混雑	×	<b>【工事】</b> 工事用車両の走行については、影響が最大になると想定される場合の予測を行っており、影響がこれを超える可能性は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
	○	<b>【供用】</b> 施設関連車両の走行については、交通計画に基づく予測を行っており、事業による著しい影響はないと予測しているが、周辺の交通状況の変化も想定され、また予測の不確実性の懸念もあることから、項目として選定する。
交通安全	×	<b>【工事】</b> 工事用車両の走行については、影響が最大になると想定される場合の予測を行っており、影響がこれを超える可能性は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
	×	<b>【供用】</b> 施設関連車両の走行については、交通計画に基づく予測を行っており、事業による著しい影響はないと予測しているが、周辺の交通状況の変化も想定され、また予測の不確実性の懸念もある。ただし、これらの影響については、上記の交通混雑として事後調査を行うことから、項目として選定しない。

表 13.1-2 事後調査の内容

調査項目		調査範囲・地点	調査時期	調査方法	
工事中	大気汚染	・二酸化窒素 ・浮遊粒子状物質	事業計画地内	工事期間中	建設機械及び工事用車両の種類、稼働台数・時間の把握により、排出量を算出する。
	騒音・振動	・騒音レベル ・振動レベル	事業計画地敷地境界及び事業計画地周辺における工事用車両の主要走行ルート沿道	工事のピーク時期	JIS 等に定める測定方法に基づき調査する。
供用後	温室効果ガス・エネルギー	・エネルギー使用量 (床面積あたり原単位) ・二酸化炭素排出量 (床面積あたり原単位)	事業計画地内	施設供用後1年間	記録台帳の整理等により把握し、他施設との比較を行う。
	廃棄物等	・種類別発生量 (床面積あたり原単位) ・リサイクル量 (床面積あたり原単位)	事業計画地内	施設供用後1年間	記録台帳の整理等により把握し、他施設との比較を行う。
	大気汚染	・二酸化窒素 ・浮遊粒子状物質	事業計画地周辺における施設関連車両の主要走行ルート沿道	施設供用後の適切な時期	交通量調査結果から、排出量を算出する。
	騒音・振動	・騒音レベル ・振動レベル	事業計画地周辺における施設関連車両の主要走行ルート沿道	施設供用後の適切な時期	JIS 等に定める測定方法に基づき調査する。
	交通混雑	・交通量等	事業計画地周辺における施設関連車両の主要走行ルート交差点	施設供用後の適切な時期	ハンドカウンターにより観測する。